



小江原小学校だより

光満つ丘・空と風

令和6年11月12日号

文責：秋山壽哉



「家庭の力&地域の力が『融合』」

暦の上では「立冬」を過ぎました。朝晩は空気の冷たさを感じることもありますが、日中に感じられる冬は、まだ足音を忍ばせているようです。

そんな冬を迎える前の実りの秋、11月9日(土)に「ばるっこフェスティバル」が開催されました。

育友会執行部と評議員の皆さまをはじめ有志の方々、子どもを守るネットワークや地域の皆さまのご尽力により、小江原っ子の笑顔がはじける催しとなりました。



フェスティバルのオープニングは、小江原中学校吹奏楽部の皆さんの素晴らしい演奏で彩られました。演奏後半には、4年生が指揮を担当する機会も与えていただきました。吹奏楽部では、本校の卒業生も活躍しており、堂々と演奏する姿に憧れを抱く子どもが多くいました。会場はすてきな演奏に包まれ、魅了される時間となりました。



続いて、「琉球太鼓」を披露していただきました。会場は、力強い太鼓のリズムに合わせて華麗に踊る奏者の皆さんの空気感に飲み込まれ、琉球の風が漂っていました。途中、小さな太鼓が配られ、参加者も一体となって太鼓を演奏すると同時に、沖縄の伝統的な獅子舞も登場し、会場は更に琉球の風に包まれました。

小江原中学校吹奏楽部の皆さま、琉球太鼓をご披露くださった皆さまに、心よりお礼申し上げます。

続く「第2部」では、バザー等が開催されました。

- 「ゆかい」さま ○「青い鳥」さま ○「3sugar」さま
- 「出口病院」さま ○「Ririkana sweets」さま
- 「青山学童たまりば」さま ○「スター服装」さま
- 「リトルすみれ雑貨店」さま ○「七色屋」さま
- 「nico&chocora」さま ○「育友会執行部」さま

団体名のみのご紹介となりましたが、上記皆さまのおかげで、子どもたちは「現金」を使っての買い物体験や楽しいゲームなどを経験することができました。誠にありがとうございました。

ほかにも、「ヤクルト&ラムネ早飲み大会」「じゃんけん大会」「ばるっこの主張」などなど、楽しい催し満載のフェスティバルでした。

小江原っ子だけでなく、園児さんや他校の子どもたち、卒業生、そして、保護者やご家族、地域の多くの方々が集う、まさに「家庭の力」と「地域の力」が融合した、とても素晴らしいイベントとなりました。

関わってくださった全ての皆さまに感謝申し上げます。特に、育友会執行部の皆さまには、準備や運営、後片付けにおいてご尽力賜りましたことに対し、重ねてお礼申し上げます。

「自分の体をコントロールする習慣力」

11月8日(金)、本校体育館において、KARADA CONDITIONING “THANKS”代表 杉野 伸治様をお迎えして、学校保健委員会講演会を開催いたしました。



子どもの自立を促すための生活習慣や、より望ましい脳の作り方など、分かりやすくご講話いただきました。詳細につきましては、「学校保健委員会だより」等にてお伝えします。

杉野先生、貴重なご講話を賜り、ありがとうございました。

長崎っ子の約束 「あ・は・は」運動

あ あいさつ・へんじ げんきよく!

は はやね・はやおき・あさごはん!

は はきものそろえ いいきもち!